

大阪大学が、(仮称)市立船場図書館・ (仮称)市立船場生涯学習センターを管理運営します

平成30年(2018年)12月20日(木)

箕面市は、2021年4月の開館をめざす(仮称)箕面市立船場図書館と(仮称)箕面市立船場生涯学習センターの指定管理者を、国立大学法人大阪大学に決定しました。

両施設は、北大阪急行線延伸に伴い新設される箕面船場阪大前駅前に立地し、同駅前には既に大阪大学箕面キャンパスの移転が決定しています。新キャンパスに隣接する図書館・生涯学習センターも大阪大学が一体となって管理運営することで、船場地区の活気あるまちづくりを推進します。

国立大学法人が公立の図書館・生涯学習センターの指定管理者となるのは、全国的にも珍しいことです。図書館では、市の蔵書に加え、大阪大学の蔵書約60万冊を、市民も閲覧し、借りることができます。生涯学習センターでは、大阪大学が持つ文化・教育研究成果や国際交流活動の知見を活用した、市民向けの生涯学習講座等を開催します。

施設の管理運営は、大阪大学が将来にわたり無償で請け負います。

1. 概要

箕面市は、2021年4月の開館をめざす(仮称)箕面市立船場図書館と(仮称)箕面市立船場生涯学習センターの指定管理者を、国立大学法人大阪大学に決定しました。

両施設は、北大阪急行線延伸に伴い新設される箕面船場阪大前駅前に立地し、同駅前には既に大阪大学箕面キャンパスの移転が決定しています。新キャンパスに隣接する図書館・生涯学習センターも大阪大学が一体となって管理運営することで、船場地区の活気あるまちづくりを推進します。

国立大学法人が公立の図書館・生涯学習センターの指定管理者となるのは、全国的にも珍しいことです。図書館では、市の蔵書に加え、大阪大学の蔵書約60万冊を、市民も閲覧し、借りることができます。生涯学習センターでは、大阪大学が持つ文化・教育研究成果や国際交流活動の知見を活用した、市民向けの生涯学習講座等を開催します。

施設の管理運営は、大阪大学が将来にわたり無償で請け負います。



2. 施設

(1) (仮称) 箕面市立船場図書館 (1階～4階)

- ◇大阪大学の大学図書館機能を兼ね備えた市立図書館
- ◇箕面市の蔵書約11万冊に加え、大阪大学の蔵書約60万冊を所蔵し、市民も大阪大学の蔵書を閲覧し、借りることが可能
- ◇小さなお子さんものびのびと過ごせる「にぎやかエリア」と、静かにゆったり本を読める「一般エリア」とに分割し、様々な世代が快適に過ごせる環境を整備
- ◇憩いの場として、館内にカフェを整備



(2) (仮称) 箕面市立船場生涯学習センター (5階～6階)

- ◇大阪大学が持つ文化・教育研究成果や国際交流活動の知見を活用した、市民向けの生涯学習講座等を開催
- ◇屋外運動場を整備

3. 指定管理者の指定に至るまでの経緯

- ・平成27年6月 「大阪大学箕面キャンパスの移転に係る覚書」の交換
- ・平成28年4月 「大阪大学箕面キャンパスの移転に係る合意書」の締結
※合意書内において、市議会の議決等の諸手続を経て、図書館と生涯学習施設の管理運営を将来にわたって大阪大学が無償で行うことを記載
- ・平成30年12月 大阪大学を両施設の指定管理者とすることについて、箕面市議会で議決

問い合わせ先
子ども未来創造局 生涯学習・市民活動室
電話：072-724-6729（直通）